

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

現状分析

黒石市の中心市街地は古くから商業の中心としての役割を担ってきた。

しかしながら近年、大規模店舗の郊外出店を契機に中心市街地の商業集積・商業機能が縮小するとともに、全市における商業シェアが低下し、消費購買力が郊外や市外に流出する傾向にある。また、中心市街地内の大型商業施設や事業所の閉店、撤退等により、中心市街地内の売り場面積の合計は減少を続け、空き店舗などの遊休資産が散見される。

中心市街地の利用目的としては、平日、休日ともに「買い物」が最も多く挙げられた。さらに、中心市街地に必要なものについてのアンケートでも「魅力的な店舗」の回答が最も多く、商業地としての活性化を期待した声が多いと考えられる。

一方で、中心市街地内には城下町当時の街なみが残る「こみせ通り」があり、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されているほか、黒石よされ、黒石ねぶた祭り、旧正マッコ市などのイベントが1年を通して開催され、多くの観光客が訪れている。

その中で、市民の参加意向に着目すると、「以前は参加していたが、最近あまり行かなくなった」といった回答が多く、理由としては「興味がない」、「イベントに魅力がない」等の意見が挙げられた。また、観光地としての中心市街地に不足しているものとして「情報発信」、「知名度・認知度」「宿泊施設」といった具体的な意見も多く、観光地としてさらなる魅力づくりと集客力・消費意欲を維持向上させるために改善すべき点も多い。

事業の必要性

中心市街地の経済活力の向上に向け、商業集積や利便性の向上、観光振興を図る必要がある。これら消費者のニーズにこたえるためには、不足している宿泊機能の導入、新たな拠点施設の整備や管理運営を計画的に実現することや、中心商店街の遊休資産を活用して出店する事業者や各種イベント実施団体への支援など、積極的に取り組む必要がある。

また、各事業者やイベント実施団体とともに連携して、情報発信や魅力ある商店街づくりに取り組むことで、新たな交流と集客、消費を創出する。

フォローアップ

基本計画に位置付けられた各事業については、計画期間の各年度に進捗状況を調査し、状況に応じて事業の促進などの改善措置を講じる。また、計画期間の最終年度に、再度進捗状況を調査し、中心市街地活性化の効果的な推進を図るものとする。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名 7-② 街なかイベント支援事業</p> <p>内容 街なかで開催されるイベントへの開催・運営に対する支援</p> <p>実施時期 昭和 61 年度～</p>	黒石市	<p>「黒石よされ、黒石ねふた祭り、黒石こみせまつり、黒石りんごまつり」等の主催者に対し、その費用の一部を補助するほか、人的支援等を行い、イベント内容を充実させ、にぎわいの創出と交流人口の拡大に繋げる。</p> <p>街なか観光の振興、中心市街地の活性化を図るうえで必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-③ 黒石よされブラッシュアップ事業</p> <p>内容 黒石よされへの参加者増・知名度アップ</p> <p>実施時期 平成 30 年度～</p>	黒石市	<p>日本三大流し踊りの一つに数えられる黒石よされへの参加者増と知名度アップのため、浴衣の無料貸し出し・着付け、首都圏等で開催されるイベントへの参加、独自で県外イベントに参加するPR団体に対し、経費の一部を補助することにより、観光誘客の推進と市内外の交流人口の拡大を図る。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-④ 黒石よされ地域参加団体補助事業</p> <p>内容 黒石よされ流し踊りに地域から参加する団体へ補助金の交付</p> <p>実施時期 平成 12 年度～</p>	黒石市	<p>中心市街地で開催される、黒石よされ流し踊りに参加する地域団体に対し、経費の一部を補助することにより、各地域からの継続的な参加が期待される。街なか観光の活性化を図るため必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～令和 5 年度</p>	

<p>事業名 7-⑤ 黒石商店街協同組合イベント補助事業</p> <p>内容 商店街で行われるイベントへの協力、補助金の交付</p> <p>実施時期 昭和 49 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>黒石商店街協同組合が主催する、クラシックカーイベントや夜店まつり、旧正マッコ市等に対し、その経費の一部補助及び人的支援を行う。</p> <p>中心商店街の賑わい創出により経済活力の向上を図るため必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-⑥ 中心商店街空き店舗対策事業</p> <p>内容 中心商店街の空き店舗への出店に対する補助</p> <p>実施時期 平成 26 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>中心商店街の空き店舗を活用して出店する事業者等に対し、店舗改修費等の補助金を交付するほか、出店後の経営状況等のフォローアップを実施する。</p> <p>空き店舗の解消並びに商店街のにぎわい創出と活性化に必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-⑦ 松の湯交流館管理運営事業</p> <p>内容 松の湯交流館を市民交流や情報発信の場として活用</p> <p>実施時期 平成 27 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>重要伝統的建造物群保存地区に存在する松の湯交流館をコミュニティ及び観光・まち歩きの拠点として活用することで、中心市街地の賑わいの創出と交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-⑧ 小さなまちかど博物館事業</p> <p>内容 小さなまちかど博物館の認定、周知、活用</p> <p>実施時期 平成 25 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>街なかにある優れた技や貴重な資料・建物を小さなまちかど博物館に認定し、周知と活用を図る。</p> <p>観光振興及び交流人口の増加に必要な事業である。</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度</p>	
<p>事業名 7-⑨ まち歩き観光推進事業</p> <p>内容 地域資源を活用したま</p>	<p>黒石市</p>	<p>交流人口の増加と滞在時間延長を図るため、地域資源を活用し、まち歩き観光を推進する。(こみせ観光ボランティア</p>	<p>支援措置 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期</p>	

ち歩き観光の推進 実施時期 平成 12 年度～		アガイド、津軽まち歩き観光推進実行委員会) こみせ観光ボランティアガイドへ補助金交付。 観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。	令和元年度～ 令和 5 年度	
事業名 7-⑩ 景観普及事業 内容 くろいし景観資産の指定、周知、活用 実施時期 平成 27 年度～	黒石市	市内にある後世に残していきたい景観資源をくろいし景観資産として指定し、周知・活用を図る。 観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度	
事業名 7-⑪ 黒石駅前観光案内所運営事業 内容 観光案内所の運営 実施時期 平成 27 年度～	黒石市	黒石駅前に設置した常設の観光案内所において、観光客等に対し必要な観光情報を提供し、誘客の促進を図る。 観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度	
事業名 7-⑫ 街なか情報発信事業 内容 街なか情報の発信 実施時期 平成 27 年度～	黒石市	商店街マップや情報誌、SNS、観光アプリ等で情報を発信し、市民及び観光客の街なかへの関心を高める。また、インバウンド対応のため、無料 Wi-Fi 設置の促進と、英語圏、主にオーストラリアをターゲットとした誘客を図る。 観光誘客の推進及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度	
事業名 7-⑬ 創業・起業支援事業 内容 相談ルーム開設、セミナー開催 実施時期 平成 30 年度～	黒石市	相談ルームの開設やセミナーの開催などにより、創業・起業希望者への支援を行う。 また、中心商店街空き店舗対策事業を並行して実施することで中心市街地への新規出店を呼び込み、創業希望者の	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～ 令和 5 年度	

		掘り起こしから新規出店までを支援することにより、魅力と活力ある商業環境づくりを進めるうえで必要な事業である。		
事業名 7-⑭ 津軽こみせ駅管理運営事業 内容 津軽こみせ駅の管理運営 実施時期 平成 23 年度～	黒石市	観光情報の提供及び地場産品等の販売を行うなど、交流人口の拡大に向けた観光客の街なか回遊の基点として、中心市街地の活性化、観光物産の振興を図る上で必要な事業である。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～令和 5 年度	
事業名 7-⑮ 生涯学習事業 内容 多様な学習の場の創出 実施時期 平成 19 年度～	黒石市	中心市街地において、市民が学びあい、その知識・つながりをまちづくりに活かすため、多様な学習の場を創出する（生涯学習のまちづくり研究大会（コミュニティネットワーク研修会）ほか）。 交流人口の増加に必要な事業である。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和元年度～令和 5 年度	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業
該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名 7-① 中心市街地複合宿泊施設整備事業 内容 宿泊機能を有する複合施設の整備 実施時期 令和元年度	民間事業者	横町に宿泊施設、多目的ホール及び、売店等を整備し、市民や観光客が交流・滞在する場を創出する。 街なか観光の振興、商店街の賑わいの創出により中心市街地の活性化を図るうえで必要な事業である。	支援措置 商店街活性化・観光消費創出事業 実施時期 令和元年度	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名 7-⑩ 百年料亭ネットワークの展開事業</p> <p>内容 百年料亭ネットワークの事業の支援</p> <p>実施時期 平成 28 年度～</p>	<p>民間・黒石市</p>	<p>百年以上の歴史のある料亭同士がネットワークを組み、「百年料亭で地方をつなぐ」をテーマに調査研究をする事業。百年料亭ネットワークの事業に対し、市及び黒石商工会議所、黒石観光協会等による支援を行う。</p> <p>観光振興及び交流人口の増加に必要な事業である。</p>		<p>事務局：新潟県上越市民間企業</p>
<p>事業名 7-⑪ 黒石物産協会運営補助事業</p> <p>内容 運営費の一部補助</p> <p>実施時期 昭和 58 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>市の物産及び観光土産品の宣伝紹介並びに商取引の促進を図り、商工業の発展に寄与することを目的に黒石物産協会に補助金を交付する。</p> <p>商業機会の創出、商業機能の強化を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-⑫ 商店街交通量調査事業</p> <p>内容 市内重点地区の通行量の調査の実施</p> <p>実施時期 昭和 49 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>市内重点地区の通行量を継続して把握することにより、今後の商業・交通施策へ反映させる。</p> <p>商業機会の創出、商業機能の強化に必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-⑬ 中心商店街意向調査事業</p> <p>内容 中心商店街エリアを対象にアンケート調査の実施</p> <p>実施時期 平成 29 年度～</p>	<p>黒石市</p>	<p>中心商店街エリアを対象に空き店舗状況、事業継承など今後の商工施策の検討材料としてアンケート調査を実施する。</p> <p>商業機会の創出、商業機能の強化に必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-⑭ 本場津軽民謡全国大会</p>	<p>本場津軽民謡全国</p>	<p>毎年全国から集まる参加者が自慢の唄や踊り、津軽三味</p>		

<p>実施事業 内容 「津軽じょんから節」発祥の地である本市において、津軽民謡の全国大会を実施 実施時期 平成 28 年度～</p>	<p>大会実行委員会</p>	<p>線を競い合い、平成 28 年度からはかぐじ広場で開催している。こみせに隣接した屋外ステージを会場とすることで、歴史情緒あふれる景観と津軽民謡が絶妙にマッチしており、こみせの魅力を直接体感できるイベントとして集客は増加傾向にある。まちなかの賑わい創出に必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉑ こでんてん in 黒石こみせ手しごとアート展実施事業 内容 全国各地から集まった工芸品や雑貨などの手しごと作家約 40 店がこみせ通り界隈で行う展示販売会。飲食ブースや体験ワークショップ等も出店し、多くのファンで賑わう。 実施時期 平成 29 年度～</p>	<p>こでんてん実行委員会</p>	<p>全国から集まる人気手しごと作家と交流しながら、その作品を直接見て、触れて、購入できるイベントとして県内外から多数のファンが訪れている。平成 29 年度からはこみせ通り界隈の中心市街地に会場を移したことで出店数、集客数も増加傾向にあり、中心商店街活性化、にぎわいの創出に必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉒ 1,000,000 人のキャンドルナイト@KUROISHI CITY 実施事業 内容 キャンドルナイトの実施 実施時期 平成 22 年度～</p>	<p>キャンドルナイト KUROISHI 実行委員会</p>	<p>夏至と冬至の時期に黒石駅前広場や松の湯交流館でキャンドルを灯し、スローな夜を楽しむイベント。飲食等ブース出店あり。 観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉓ 全国ずぐり回し選手権大会 by 冬のこみせ実施事業</p>	<p>黒石こみせまつり実行委員会</p>	<p>津軽地方の伝統的な冬の遊び「ずぐり」回しの全国大会。平成 29 年で 30 回目を迎えた。 観光振興及び交流人口の増</p>		

<p>内容 伝統的な冬の遊び「ずぐり」回しの全国大会の実施</p> <p>実施時期 昭和 63 年度～</p>		<p>加を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉔ なべワン－グランプリ in こみせ通り実施事業</p> <p>内容 藤崎町発祥のイベント「なべワン」の実施</p> <p>実施時期 平成 29 年度～</p>	<p>こみせ通り商店街振興組合</p>	<p>藤崎町発祥のなべワンを平成 29 年度からこみせ通りで開催。市内外の飲食店が自慢の鍋を出店し、冬のこみせ通りの賑わい創出を図る。</p> <p>観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉕ 黒石じょんから宵酔酒まつり実施事業</p> <p>内容 飲み処「よされ横丁」界隈でのイベント実施</p> <p>実施時期 平成 19 年度～</p>	<p>黒石じょんから宵酔酒まつり実行委員会</p>	<p>中心市街地にある飲食店の活性化を図るため、飲み処「よされ横丁」界隈で、指定された順番に店舗を廻るイベントを実施する。</p> <p>観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉖ おてらいん～Oteline～実施事業</p> <p>内容 お寺で行うアコースティックライブの実施</p> <p>実施時期 平成 30 年度～</p>	<p>感随寺</p>	<p>平成 30 年度に初開催の、お寺で行われるアコースティックライブを継続して実施する。将来的には市内の各種イベントを線でつなげることを目指す。観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>		
<p>事業名 7-㉗ 黒石まち歩きツアー実施事業</p> <p>内容 黒石の歴史や文化、なりわいなどをめぐるガイド付ツアーの実施</p> <p>実施時期 平成 22 年度～</p>	<p>NPO 法人横町十文字まちそだて会</p>	<p>中町及び横町を中心に、黒石の歴史や文化、なりわいなどをめぐるガイド付ツアーを実施する。</p> <p>観光振興及び交流人口の増加を図るうえで必要な事業である。</p>		

<p>事業名 7-㊸ 日台まち歩き交流事業</p> <p>内容 台湾でまち歩き活動を行っている NPO 法人との姉妹会締結、相互にまち歩きツアーの実施</p> <p>実施時期 令和元年度～</p>	<p>NPO 法人 横町十文字まちそだて会</p>	<p>主に中心市街地で活動する NPO 法人横町十文字まちそだて会と、台湾でまち歩き活動を行っている NPO 法人が姉妹会を締結し、相互にまち歩きツアーを実施するなど交流を深めることでインバウンド観光等を推進する。街なかのにぎわい創出につながる必要な事業である。</p>		
---	-------------------------------	---	--	--